

松山親光ボランティアガイドの会

おいでんか通信

事務局

松山市大街道 3 丁目 2-46

TEL 089-935-5711

ホームページ

<http://Matsuyama-guide>

号外第 20 号

2019.6.15

発行責任者 大西修史

編集 広報事業部

部長 都合憲一

総会が開催されました

5月24日(金)、松山市男女共同参画推進センター・コムズにおいて9時30分より85名が出席され、令和元年度の総会が開催されました。田所真司氏総合司会のもと、大西会長の挨拶・野志市長のご挨拶の後、田中寿利氏の議長により議事に入りました。詳細につきましては、「おいでんか通信7月号」にてご報告いたします。その後、基調講演・懇親会が行われました。



懇親会風景



吉村弘子さん

「えひめの創作紙芝居」は、今週から「伊予の湯み〜つけた」です。松山親光ボランティアガイドをしている吉村弘子さんが松山市が文と絵を担当しています。作品は「第9回えひめ手作り紙芝居コンクール」の一般の部の優秀賞に選ばれたものです。



【場面①】



【場面②】



道後平野の山あいにはいくつかの谷がある。その一つの谷間に一羽の白鷺が舞い降りてきた。そこは美しい泉であった。〈水曜日に掲載〉

【場面①】
むかしむかしのお話
が揺れている
おひさまが山のでっぺんから顔を出すと村人はいっせいに田んぼにかけた喜助と田吾作もいった
ここは松山 道後平野 秋になると 黄金の稲穂
喜助「田吾作よ よう出い」
田吾作「おう、石包丁と違くて、この鉄の鎌に
え具合に雨が降ったけ
ん、よう出来た
喜助「今日は米蔵いっぱい
つけよう」

えひめの創作紙芝居

伊予の湯み〜つけた

-1-

2019.6.8

文と絵・吉村 弘子

書は渡部昭弘さん



花箱は向居孝子さん
ヤジロベイは田所真司さん

吉村弘子さんの「創作紙芝居」 「伊予の湯み〜つけた」

愛媛新聞に5月8日より毎週水曜日に連載されています。民話「道後温泉のはじまり」より題材を得て、創作されました。本号が読まれる頃には、連載は終了しているかも知れません。ご容赦を。

5月8日、愛媛新聞より

英会話ならお任せ??? 大西会長、Eテレ出演

打ち合わせということで呼び出され、ロープウェイの切符売り場で待っていると、天守入口の切符売り場で待っているとのこと。急いで行ってみると、早速本番撮り。緊張しながらも無事終了。説明はもちろん日本語です。
(NHK Eテレ 「おもてなしの基礎英語」より)



駅からウォーク報告

6月1日、「中世河野氏発祥の地 北条風早ウォーク」駅からウォークが開催されました。好天の中、一般参加者25名と研修も含め8名の会員が参加しました。田中寿利さんの説明のもと、約12km?の行程を皆さん無事に完歩しました。



階段を上った国津比古命神社



河野氏発祥の地「善応寺」



住生推奨により若い女性も参加



河野対馬守通盛公のお墓



フジ夏目店で仲良く昼食



高浜虚子幼少時在住の地探訪

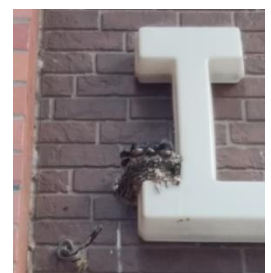
番組放送情報

6月20日午後8時から、NHK BSプレミアム(BS3チャンネル)、偉人達の健康診断「城と健康(仮題)」。
城と健康の意外な関係性を現代医学と科学の視点から検証します。松山城が登場予定です。



道後待機場所の案内板:田所真司さんの作成です。

ハイカラ通りにある「AWSON」のツバメの巣、テレビ放送されたために観光客に大人気でした。残念ながら、9日の夜までは確認されましたが、10日には巣立ちしていました。



地下水の水位が大幅に下がっています。バケツ1杯(10リットル)の節水をお願いします。